

第2弾ちくま生活応援券配布方法について②

【ご意見】（令和5年10月10日受付）

第1弾ちくま生活応援券配布方法の特定記録郵便は盗難事件等が多数発生したので経費はかかるが確実・安全なゆうパックを選択したと回答いただきましたが次の点疑問が残りますのでご回答願います。

1. 盗難事件なら、当然警察に受取人が届け捜査したのでしょうか。
2. 料金は特別料金適用ゆうパックだとしても特定記録郵便利用の倍位？になるかと思いますが発送等委託料の削減に努め総額を抑える事が出来たのでしょうか。
3. 不在世帯に対して何度か配達を試みると有りましたが、これは今国でも対策を考えている宅配業界の再配達問題の逆を行政(千曲市)がやらせているのでしょうか。

そもそも送料・委託料を考えて全市民に確実に届ける方法は他に無かったのでしょうか。

厳しい財政状況の国からの交付金(税金)いかに有効に活用するか各自治体の責任は重いと思います。

第1弾と第2弾の会計報告を市報への公表・市長の確認を希望します。

お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答】

(1)盗難事件の届出等について

市に相談があった応援券の盗難事案については、受取人から千曲警察署に届け出をしていただいております。現在、千曲警察署で捜査中とのことです。

(2)発送等委託料の削減に努め総額を抑えることが出来たのかについて

特定記録郵便と特別料金のゆうパックを比較すると約2倍の料金となっておりますが、先にご回答させていただきましたとおり、応援券の盗難防止や土日配達の対応等の理由により発送方法の変更を行いましたので、ご理解をお願いします。

なお、印刷や封入封緘業務や問い合わせ窓口運営等に係る委託料については、印刷経費や人件費の増額の影響があるなかでも、仕様書等の見直しや作業工程の削減を実施し、昨年度の委託料よりも1割ほど抑制できております。

(3)宅配業界の再配達問題について

今回のゆうパックについては日本郵便(株)信越支社よりご提案をいただき、発送の時期や再配達の取扱についても、日本郵便(株)信越支社や千曲・長野南郵便局(戸倉郵便局)と協議を重ね決定しております。

なお、配布方法につきましては、第1段での盗難事案を踏まえ、庁内で検討するとともに、市議会にも相談して進めている事業ですのでご理解をお願いします。

本件については、全て市長も確認済みですが、会計報告については、来年度決算報告の中で、市議会定例会において審議をいただいた後に市ホームページ等で公開いたしますので、市報への公表は考えておりません。

担当 総務課